

令和 2 年 1 2 月 定例会 一般質問

通告 3

質問 町有財産の有効活用について

答弁 利便性の高い施設となるよう検討を重ねてまいります

8 番 江口 智子 議員

【質問：江口 智子 議員】

8 番、江口智子でございます。

全世界に 150 万人以上の死者を出しながら、なおその終息が見通せない新型コロナウイルス。この未知なるウイルスとの戦いの中で生活を立ち行かせるため、本年の流行語大賞でも話題となった「オンライン〇〇」に象徴されるように、仕事や

学びなど、人の集まる場面で密を避けるための ICT 機器を活用した取り組みが種々なされてきました。在宅勤務を主とするテレワークや、新しい働き方としてリゾート地などで休暇を取りながら労働する「ワーク」と「バケーション」を掛け合わせた「ワーケーション」という言葉が一気に脚光を浴び、人々の仕事に対する概念、価値感は大きく変容しています。

ここに目をつけた多くの地方自治体は、地方移住や企業のサテライトオフィスを誘致しようとしのぎを削っています。このような状況下、当町においても感染症に強い地域づくりの推進に対する、中標津町新型コロナウイルス対策地域活性化支援事業補助金を活用した「ソーシャルディスタンスイベント普及事業手ぶらデイキャンプ体験会」が 10 月 10 日、11 日の 2 日間にわたって開催されました。緑ヶ丘森林公園を舞台とし、アウトドアメーカーの協賛を得て、コロナ禍にあってもソーシャルディスタンスを保ちながら楽しむことのできるキャンプスタイルを模索するこのイベントには、想定 100 名を大きく上回る 274 名の参加者があり、アウトドアへの関心の高まりが現れています。

私もイベント会場へ足を運び、また後日主催者より町内でのキャンプ場に対するお話を伺いました。中標津でキャンプができるのは、現在、緑ヶ丘森林公園と開陽台の 2 か所となっていますが、昨今のアウトドアのニーズに対して現場の状況がそぐわず、利用者数において隣接する町のキャンプ場に大きく水をあけられていること、一例を挙げれば、「焚火」は個人、家族連れを問わず必須であり、多くのキャンプ場では芝を痛めな



いよう焚火シートを利用すれば可となっていますが、森林公園は公園条例で禁止されており、開陽台にあっては規則上可能でも、駐車場に停めた車からわざわざ道具を抱えて上がってまでやる人はいないので、キャンプ場のサイトの口コミを見ながら次の移動場所を決めるオートキャンプやバイクの客などから、選ばれない実態となっているとのこと。キャンプ場の有料化も含め、多くの課題や改善案をまとめた実施報告書が行政側にも提出されているとのことですが、その多くは予算をかけずに現状をこう変えれば使い勝手が良くなるというアイデアにあふれています。

現存のキャンプ場を活かしたワーケーションの推進、アウトドア愛好家の集客に町として今後どのように協議を進める予定であるか町長に伺います。

【答弁：町長】

江口議員御質問の町有財産の有効活用について御答弁申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、観光客の減少など地域経済に甚大な影響を及ぼす一方、外出自粛や感染予防に伴う「新たな生活様式」を実践する中で、働く場所に縛られない「リモートワーク」や「サテライトオフィス」の取り組みなど、通勤時間の短縮や業務効率の向上、仕事と生活の調和といった新しい働き方として多くの企業に採用されるようになりました。

国はこの流れを受けて、東京一極集中の是正や地方への移住、余暇を楽しみながら仕事をするワーケーションの推進など、地方の活性化を後押ししており、当町においても9月定例会で議決いただきました「テレワーク誘致事業補助金」や、先般、観光庁の受託事業として採択され、本定例会に補正予算を上程させていただきましたANAとの連携による、「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業」に取り組むこととしているところでございます。

御質問いただきました緑ヶ丘森林公園は、豊富な自然を生かした町民憩いの場として、パークゴルフ場、キャンプ場、自然散策や野鳥観察などに利用されており、公園全体の利用者数は5月から10月までの6カ月間で約8,000人、キャンプ場が約2,000人と、町内外の方々に利用されております。

緑ヶ丘森林公園は整備されてから40年以上が経過し、施設の老朽化が著しく、一部の施設が利用できないなど御不便をかけておりますが、本年度、公園内にある木道の更新工事を実施し、今後も継続して施設の更新工事を予定しているところでございます。

近年、アウトドアへの関心が高まる中、本年10月に「ソーシャルディスタンスイベント事業手ぶらデイキャンプ体験会」が行われ、事業終了後には実行委員会から実施報

告書の提出がありまして、会場となった公園のキャンプ場について、最近のアウトドアニーズに十分対応できていないなど、さまざまな御意見をいただいたところでございます。

キャンプ場を含む公園全体は都市公園のため、都市公園法や町の公園条例など、公園管理上必要なルールを設けております。また、開陽台のテントサイトについても、例年多くのライダーなどに利用していただいておりますが、管理運営の面から利用上のルールを設け、利用者の方々の理解を得ながら利用していただきたいと思いますと思っております。

今後はこれらの施設について、道内の公園やキャンプ場の利用状況などの情報収集を行うとともに、観光協会や利用者の方々の御意見を伺いながら、利便性の高い施設となるよう検討を重ねてまいりたいと考えております。

本町は北海道の中でも雄大な自然を有しながら、空港・病院・学校といったインフラや商業施設が充実し、他の地域にはない魅力や優位性があると考えております。

今後は、コロナ終息後を見据えたテレワークやワーケーションを推進するとともに、緑ヶ丘森林公園や開陽台などの町有財産の有効活用を図りながら、観光振興・移住促進・企業誘致など、交流人口や関係人口の拡大に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【質問：江口 智子 議員】

8 番、江口智子でございます。ただいま答弁いただきましたように、森林公園は生活インフラや商業施設が充実する市街地と近く、町民に親しまれる公園としての機能も保護しながら、立地の優位性を活かしたキャンプ場としての活用に期待するところです。

また、ライダーの聖地として名高い開陽台は、町を代表する観光スポットでもありますので、観光協会やアウトドア愛好家など、知見を有する個人・団体と協議しながら利便性の向上を図れば、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復のみならず、移住施策の予備段階としての魅力を発信する大きな可能性を秘めています。

現在、キャンプ場を所管するのは、開陽台が経済部、森林公園は建設水道部であり、管理するのは中標津都市施設管理センターと分かれていることから、どのように部局間また関係諸機関と情報共有を図り、有効活用に取り組まれるのかについて質問いたします。

【答弁：町長】

江口議員の再質問に御答弁申し上げます。江口議員がおっしゃるように所管する部局が分かれているところ、そしてまた管理はまた別な団体ということで、確かにそういうところは弱みになっているなという感じはもちろんです。

しかし、町挙げて交流人口・関係人口の増というふうに私もうたっておりますので、そういったところはしっかり連携プレーをさらに強化しながら、お客様が増えるように努力したいと思っております。

なお、開陽台につきましては余り整備が進んでいないという現状があります。そして、森林公園につきましては整備が終わったけども、随分古くなっているということがございますので、今後に向けまして、そういったキャンプ場のいろんな利便性を高めるための整備につきましては、この後ですね、ゆっくりと時間をかけて検討してまいりたいというふうに考えております。以上でございます。